

細野工場閉鎖

十月十四日、細野工場の閉鎖が、工場の閉鎖は、労働者の要求によるもので、経営者の責任を負うべきものである。労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。

(一) 労働者の要求

労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。

(二) 経営者の専横

経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。経営者は、労働者の要求を無視し、専横を続けるべきではない。労働者は、経営者の専横を許さず、自己の権利を主張するべきである。

報聞法人謝職會大頭支派

右工場不穩作業中ナルガ工場當事者職工懷柔ニ腐心シ十二  
 定休日ニ男女工ノ遠遊會ヲ開催ヲ取消シ工場内ニ一圓宛ノ特  
 別手當ヲ給與シ諸興行ヲ催シ全職工ノ外出防止ヲ計リタル處  
 一名ノ外出者ナク温順ナル模様ナリ

◎労働者側ノ狀況

(一) 議説會ノ開催  
 爭議主体總同盟ハ四月十二日鳴野工場附近西勝寺又ハ同十四  
 日大阪中央公會堂ヲ二カ所ニ於テ鐘紡糾陣演説會ヲ開催シ、  
 西尾未廣、鈴木文治、塚本重茂、山口正義、瀧川未一外數名  
 不出演シ爭議發生ノ原因經過ヲ報告シ氣勢ヲ昂メタリ殊ニ西  
 尾未廣及鈴木文治只資本主義專制ノ暴露ト武藤山治ノ三百万  
 圓ヲ退職金ト今次ノ爭議ヲ原因タラ減給即チ労働者ノ負擔ナ  
 リト力説相當聽衆ニ感動ヲ與ヘタリ西勝寺ハ約三百名中央公  
 會堂ハ約三千名ヲ別陣事故ナク比較的平穩ナリ

財團法人協調會大阪支所